

神奈川県議会 令和5年本会議 第3回定例会 環境農政常任委員会

令和5年12月13日

意見発表

◆おだ幸子委員

私は、公明党神奈川県議団を代表し、当委員会に付託された諸議案に賛成の立場から意見発表を行います。

一つ目は、中小企業の脱炭素化の促進についてです。

脱炭素社会実現に向けた中小企業支援充実のための課題調査の調査結果が出ましたが、中小企業の約9割が脱炭素化の必要性を感じているものの、実際に取り組んでいる企業は約3割にとどまっているという実態と、取組を進める上での課題として、知識やノウハウが不足している、取り組む時間や人が確保できない、必要な資金の見通しが立たないということが明確になりました。意識と実態のギャップを埋め、課題を解決するために、ぜひアウトリーチでの実効性のある支援を積極的に検討してください。

二つ目は、有機農業の推進についてです。

環境保全の面からも、有機農業の発展は重要です。県におかれましては、生産者の安定的な収入確保のため、神奈川県の特性を踏まえた販路の拡大の取組を引き続きお願いいたします。

三つ目は、6次産業化支援についてです。

1次産業は個人事業主が多く、資金と時間がない傾向があります。そのため、開発や販売をするための時間がなく、漁に出る時間や畑作業の時間を削るなど、トレードオフの関係になってしまいます。開発ができたとしても、次の課題は販売チャネルを構築することが求められますが、有機農業同様、課題は販路拡大であると考えます。

さきに申し上げましたが、葉山の棚田のお米を使った甘酒で作ったアイスのように、もともと手間がかかって生産量の少ない棚田のお米の希少性をブランド化し、今や生産拠点を長野に移して、全国の棚田のお米を集めて、アイスにして生産農家に戻すなど、地域の枠を超えて成功している例もあります。県におかれましては、マーケットにおける弱みをどうやって機会につなげていけるのか、発想を変えた取組の推進をお願いします。

以上、意見、要望を申し上げ、当委員会に付託された諸議案に賛成いたします。